

1924年第二次護憲運動

by加藤高明・犬養毅・高橋是清

明治維新が起こって、大正が終わって、もう昭和だってのに、相変わらず選挙は金持ちだけ。誰も庶民のための政治なんてやっちゃくれねえ。何が悪いって、そもそも俺達庶民が選挙に出れねえ事が悪いんじゃないか？

「いい加減にしやがれっ！」o(´Д`*)o

そしたら、この騒動もめっちゃくちゃ大きくなって、1925年**普通選挙法**ができちゃった。これで「**25歳以上の全ての男子**」は選挙に出れるようになったわけだ！でも、社会主義とかヤバイ考えの人は外したいから**治安維持法**も一緒に作っとくね。

- ・**普通選挙法**：25歳以上の男子は、納税額に関係なく選挙権を持つ
- ・**治安維持法**：政府の考えを否定するヤツは逮捕しちゃうぞ！って法律

資本主義とか社会主義とか民主主義とか、、、

大正デモクラシーをやると「民主主義」とか「資本主義」とか「社会主義」とか、ムズカシイ言葉が出て来てよくわからない（泣）じゃあ、それを一つ一つ解説していこう！

①資本主義

働いて稼いだ分は「基本自分のモノ」っていう考え方。貧乏なのは自分が悪い！って誰もケアしてくれないから、どんどん経済格差が開いていく。貧しい人は貧しいまんま。しまいには不満が高まって、、革命を起こすかも（泣）

②社会主義

金持ちがお金を独占しているから、世の中に貧しい人が生まれてしまうんだ、だったら稼いだ分を「みんなのもの」にしようじゃないかって考え方。「平等配分」が原則で、みんな同じものが支給される。でも、みんな

